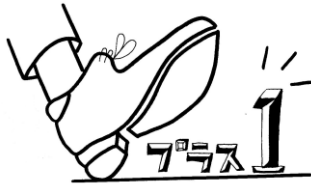


考動



2022 (令和4) 年5月13日

福山市立日吉台小学校

6年学年通信

No.4

火災の避難訓練をしました！！

4月28日(木)に火災発生時の避難訓練を行いました。「避難訓練を通して、災害発生時の適切な行動を知り、安全に避難できるようにする。」ことを目的として訓練をしました。訓練前には、自分の命を守るためにどのように行動したらよいか話し合いました。「放送を最後まで聞く。」「静かに避難する。」「ハンカチで口を押さえる。」「姿勢を低く動く。」「“おさない はしらない しゃべらない もどらない”を守る。」「窓を閉めるけれど、カーテンは開ける。」「電気は消す。」など、いろいろな意見が出ました。そして、どうしてそのような行動をとらなければならないか、わかりやすく説明することができました。

避難訓練では、「さすが6年生。」と感心する考動をしており、他学年の手本となっていました。また、教頭の話の中で避難にかかった時間が早いか遅いかについて自分の考えを持つことができました。

また振り返りでも、自分のめあてと行動を結び付けて書くことができました。

・大河内君と岡田君は、避難訓練が終わった後、シューズを拭いた雑巾を片付けたり、廊下の窓を開けたりしました。その姿を見て「考動+1」の考動をしていると気づき、自分もそんな考動がしたいと振り返った人もいました。考動する姿、それに気づく姿、素敵ですね。

断ることができるように、避難訓練に取り組みたいです。

これからは、今日やった避難訓練を生かして、大河内くんみたいに判断できるようなり、避難訓練に取

り組みたいです。

断ることができるように、避難訓練に取り組みたいです。

断ることができるように、避難訓練に取り組みたいです。

避難訓練の振り返り

岡田 直旺

今日の避難訓練のめあては、「本日の火事になったと思って避難する。」でした。(中略)

放送がなり、避難を開始しました。僕は、放送の後すぐに廊下に出て窓を閉めることができました。そして、体を低くして避難しました。外に出るとき、隣にいた大河内君が、「こつち。」と指をさしてくれました。だから冷静に避難することができました。

避難訓練の振り返り

中村 優月

私の避難訓練のめあては、「放送や先生の話をも最後まで聞く。」でした。私は、放送を最後まで聞いて行動することができました。さらに、避難場所でも話している人の方に体を向けて話を聞くことができました。

教頭先生からの話の中で、避難開始から運動場の避難場所に集まるまでの時間が四十分二十八秒だったことを知らされました。五分以内にできたことはすごいなと思いましたが、次の避難訓練では、もっと早く避難できるようにしたいです。また、実際に火災が起きた時は避難訓練のようにはいけません。また、実際に火災が起きた時は避難訓練のようにはいけません。また、実際に火災が起きた時は避難訓練のようにはいけません。

6月には、不審者への対応訓練があります。今回の振り返りを生かして、次の対応訓練にも臨んでほしいと思います。「自分を守る。」「みんなを守る。」ために、「自分がどのように考動したらよいか。」日頃から考えた学校生活をみんなで送っていきます。合言葉は、「考動プラス1」です。